

パンジー（苗）栽培の肥料改良と育成の比較

1. 実験題目

パンジーの本床（花壇）に腐植物質（マリネックス）及び有機肥料（ムスカ）を施用した生育状況の比較確認

2. 実験内容

- ① 実験場所 大阪市長居植物園／花壇／植物園詳細図参照
実験対象面積／約 150 平方メートル／10 ブロック
- ② 実験花卉 パンジー（4 種類）
- ③ 実験方法

①	1 区・6 区	対照区	無添加（無施用）
②	2 区・7 区	腐植物質	14.75 kg 施用
③	3 区・8 区	有機肥料	ムスカ 3.75 kg 施用
④	4 区・9 区	腐植物質	14.75 kg 施用
		有機肥料	ムスカ 3.75 kg 施用
⑤	5 区・10 区	腐植物質	30.0 kg 施用

上記、試験区・対照区の 10 ブロックの活着率、花芽の付き状況、茎・葉の様態の観察

3. 実験期間

平成 13 年 11 月 19 日～平成 14 年 2 月 20 日

4. 実験結果

① 結果内容

- ㊦ 1 ヶ月経過後では、試験区 5・10 区での葉体の伸長が若干あった
- ㊦ 2 ヶ月経過観察時では、気温も低く 1 ヶ月前と殆ど変化が無かった
- ㊦ 3 ヶ月経過観察時では、5・10>4・9>2・7>3・8>1・6 の順で花芽数、伸長度、葉の厚み、茎の太さ等で差が出始めている

② 結果考察

育苗培土への施肥後は花壇には施肥せず、今回の育成観察した結果、5・10 区の花芽多数・葉の厚み・茎が太くなった事は育苗ポット時の残存肥料を腐植物質が肥料吸収を助成し、含有微量元素を根に与えた事で、花芽促進や樹体を強くしたと推察される。3 月下旬～4 月上旬の満開時の最終結果が楽しみである。

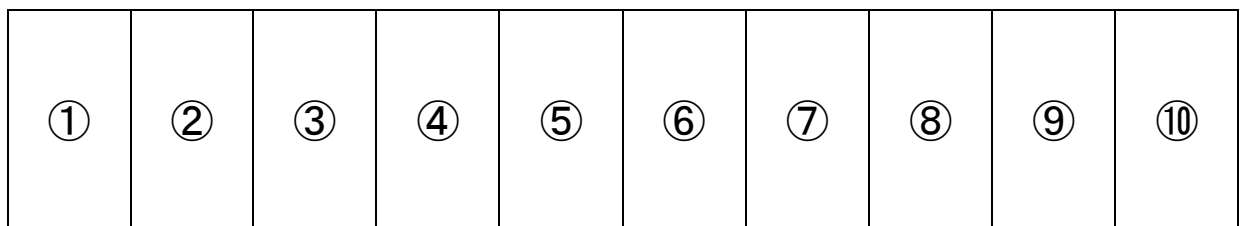
ミネラル培土・ムスカ肥料施工について

1. 施工場所 長居植物園・大池南東花壇
 2. 花壇面積 全体 147 m²
 施工区 118 m² (8 区画/1 区画=14.75 m²)
 3. 花壇有効長さ (深さ) 約 20 cm
 4. 施工花壇有効土量 23.6t (1 区画=2.95t)
 5. 施工区内訳

施工区	対照区	ミネラル培土	ムスカ (肥料)
① ⑥	◎		
② ⑦		◎ (0.5%) (14.75 kg)	
③ ⑧			◎ (3.70 kg)
④ ⑨		◎ (0.5%) (14.75 kg)	◎ (3.75 kg)
⑤ ⑩		◎ (1.0%)	

6. 施工区画図

池側



通路側

大阪市立長居植物園 園内マップと施工場所

 トイレ 5ヶ所 (すべて身障者対応)

 軽食・喫茶コーナー
※花と緑と自然の情報センター

 公衆電話 2ヶ所

 自動販売機

 売店



施工場所

パンジー栽培の肥料効果と育成の比較写真

